

香川県地震・津波被害想定（第三次公表）の概要について

1 目的

本県に大きな被害をもたらすと思われる地震の発生に伴う被害が、時間の経過とともにどのように推移するのかを示す「被害シナリオ」を作成し、今後の防災・減災対策を検討する際の資料とするとともに、防災・減災対策への県民の理解を深め、自助・共助への取組みを促進する。

2 基本的な考え方

昨年3月の「第一次公表」での震度分布・津波浸水想定などや、昨年8月の「第二次公表」での地震発生直後の人的・物的被害などを踏まえて、「被害シナリオ」を作成した。

なお、このシナリオは、あくまで一つの想定として作成したもので、実際に地震が発生した場合に、必ずしもこのシナリオどおりに事象が発生するわけではない。また、次に起こる地震を想定したものでもない。

3 被害シナリオについて

(1) 対象とした地震

第一次公表で対象とした4地震のうち、「南海トラフの最大クラスの地震（L2）」、「中央構造線（讃岐山脈南縁～石鎚山脈北縁東部）で発生する地震」、「長尾断層で発生する地震」の3地震を対象とする。

なお、「南海トラフの発生頻度の高い地震（L1）」については、国において新たなモデルを公表しようという動きがあるので、第二次公表と同様、今回の公表には含めていない。

(2) 作成項目

①建物被害 ②人的被害（死者数、負傷者数等） ③ライフライン被害など

(3) ライフラインの被害数及び避難者数の推移

① 上水道（断水人口：人）

	供給人口	発災直後	1日後	1週間後	1ヵ月後	参考(注)
L2	981,000	763,000	554,000	377,000	229,000	208,000
中央構造線	981,000	622,000	402,000	220,000	53,000	25,000
長尾断層	981,000	205,000	58,000	17,000	1,500	590

② 下水道（支障人口：人）

	処理人口	発災直後	1日後	1週間後	1ヵ月後	参考(注)
L2	501,000	141,000	139,000	86,000	61,000	61,000
中央構造線	501,000	30,000	29,000	18,000	1,700	1,700
長尾断層	501,000	12,000	11,000	2,200	40	40

③ 電力（停電軒数：軒）

	電灯軒数	発災直後	1日後	1週間後	1ヵ月後	参考(注)
L2	590,000	587,000	269,000	79,000	78,000	78,000
中央構造線	590,000	486,000	188,000	14,000	12,000	12,000
長尾断層	590,000	153,000	28,000	1,700	1,700	1,700

④ 固定電話（不通回線数：回線）

	回線数	発災直後	1日後	1週間後	1ヵ月後	参考(注)
L2	244,000	190,000	80,000	14,000	14,000	14,000
中央構造線	244,000	187,000	72,000	3,700	2,800	2,800
長尾断層	244,000	51,000	9,200	140	140	140

⑤ 都市ガス（供給停止戸数：戸）

	供給戸数	発災直後	1日後	1週間後	1ヵ月後	参考(注)
L2	85,000	58,000	54,000	52,000	28,000	2,000
中央構造線	85,000	69,000	58,000	56,000	30,000	2,400
長尾断層	85,000	29,000	9,400	7,800	2,400	210

(注)：ライフラインの被害数のうち、今回の対象期間内での仮復旧が困難である津波浸水、火災、急傾斜地崩壊による被害区域における被害数を示す。

⑥ 避難者数（人）

	発災直後			1週間後			1ヵ月後		
	全体	避難所	避難所外	全体	避難所	避難所外	全体	避難所	避難所外
L2	199,000	119,000	80,000	132,000	95,000	37,000	230,000	69,000	161,000
中央構造線	45,000	27,000	18,000	90,000	45,000	45,000	71,000	21,000	50,000
長尾断層	4,000	2,400	1,600	8,000	4,000	4,000	4,800	1,400	3,400

(注)：避難者には、自宅建物は大きな損傷を受けていないが、断水が継続されることにより、自宅で生活し続けることが困難となる住民を含む。

(4) 被害シナリオ

別添資料のとおり